

Title	第76巻第1-6号総目次：昭和58年度
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1984
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.76, No.6 (1984. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19840201-0180

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌 第76巻第1～6号 総目次 (昭和58年度)

特集 カール・マルクス —— 没後100年 ——

	号	頁	通頁
マルクス経済学の現代的意義……………常盤政治	3	1	375
「宣言」と「資本論」の間より……………寺尾誠	3	21	395
『資本論』の対象領域と残された課題……………井村喜代子	3	37	411
『資本論』第3部第5篇(上) —— その成立と現代	3	63	437
マルクスにおける二つの労働分割……………野地洋行	3	83	457
現代のME革命とマルクスの労働過程論……………黒川俊雄	3	98	472
[研究ノート]			
軍需品生産の再生産表式分析にかんする一考察……………延近充	3	114	488
—— 従来の諸議論の検討を中心に ——			

特集 ジョン・メイナード・ケインズ —— 生誕100年 ——

ジョン・メイナード・ケインズ —— 生誕100年 —— にちなんで……………福岡正夫	4	1	499
ケインズ経済学とマクロ経済学……………大熊一郎	4	39	537
ケインズの人口観……………安川正彬	4	54	552
リカードゥとケインズ —— 自然価格と市場価格の 関係を通じて……………富田重夫	4	77	575
ケインズ一般理論における失業の計測と賃金較差形成機構……………小尾恵一郎	4	93	591
—— 労働市場の順位均衡モデルによる分析 ——			

〈小特集 ウィリアム・S・ジェヴォンズ —— 没後100年を追悼して ——〉

W. S. Jevons 死後100年……………寺尾琢磨	1	1	1
ウィリアム・スタンレー・ジェヴォンズ —— 没後100年 ——……………福岡正夫	1	18	18

〈小特集 ヨーゼフ・アロイス・シュンペーター —— 生誕100年 ——〉

ヨーゼフ・アロイス・シュンペーター —— 生誕100年 ——……………福岡正夫	6	1	733
シュンペーターにおける科学とイデオロギー……………塩野谷祐一	6	32	764
分析と実践の峻別 —— シュンペーターの一面……………養谷千鳳彦	6	62	794

論 説

組織と環境……………青沼吉松	1	55	55
わが国巨大企業における「所有と決定」の特徴 —— 株式持合いの構造と意義……………北原勇	1	71	71
固定資本財と耐久期間……………細田衛士	1	110	110
資本の流通過程と貨幣の還流運動 —— 手稿「資本主義的再生産における貨幣の還流運動」を中心として ——……………大友敏明	1	126	126
日本における児童福祉の成立……………小松隆二	2	1	187
1831年のノッティンガム暴動(下)……………松村高夫	2	21	207
住宅の質の選択と価格関数……………山田太門	2	38	224
下請企業の競争と存立形態(上) —— 「自立」的下請関係の形成をめぐって……………渡辺幸男	2	52	238
日本製糸業の発展と海外市場……………杉山伸也	2	68	254
ドイツ・ライヒ財政の帝国主義的構造……………鈴木純義	2	89	275
マルクスと労働貴族(上) —— ロイドン・ハリスンの所論との関連で……………松村高夫	5	1	613

下請企業の競争と存立形態(中)——「自立」の下請関係の形成をめぐって	渡辺幸男	5	17	629
差額地代第二形態論の一考察——マルクスのリカード批判との関連において	寺出道雄	5	34	646
17世紀イングランドにおける Puritanism と社会——Richard Baxter 研究序説——	今関恒夫	5	51	663
マルクス「省察」(Reflection, 1851)における恐慌・信用論——マルクスとシスモンディ——	中宮光隆	5	76	688
企業家精神と経営者資本主義	青沼吉松	6	86	818
『資本論』第3部第5篇(下)——その成立と現代——	飯田裕康	6	105	837
マルクスと労働貴族(下)——ロイドン・ハリスンの所論との関連で——	松村高夫	6	119	850
ポーランド王国の経済的発展をめぐる「東方市場」論争史序説(1)	神代光朗	6	134	866

書 評 論 文

西欧近代「合理主義」の形式と実質(上)——山之内増への批評的応答——	寺尾 誠	2	123	309
西欧近代「合理主義」の形式と実質(下)——山之内増への批評的応答——	寺尾 誠	5	91	703

資料・研究ノート

黒死病	渡辺國廣	1	145	145
ドイツ・ライヒの財政収支(1933~1944年度)	大島通義	1	151	151
絶対地代の水準の一考察	寺出道雄	2	144	330
置塩信雄『現代資本主義分析の課題』の「スタグフレーション」論をめぐって	延近 充晃 栃木	2	155	341
軍需品生産の再生産表式分析にかんする一考察——従来の諸議論の検討を中心に——	延近 充	3	114	488
製造業における産業間賃金波及効果の検証	中村二朗	6	153	885
限界生産力と要素価格の乖離について——企業規模別の推定——	千田亮吉	6	158	890
18・19世紀前半, アイルランド経済史研究の史料——ダブリン大学トリニティ・カレッジ所領を中心に——	斎藤英里	6	165	897

書 評

館龍一郎著『金融政策の理論』	村井俊雄	1	175	175
蓑谷千風彦著『経済分析における時間要素』	廣松 毅	1	178	178
天野明弘著『貿易と対外投資の基礎理論』	和気洋子	1	182	182
根岸隆著『古典派経済学と近代経済学』	丸山 徹	2	178	364
岡田純一著『フランス経済学史研究』	中宮光隆	2	182	368
酒井泰弘著『不確実性の経済学』	桐谷 維	5	112	724